

# 9 理科 単元の整理

やった分だけ合格が近くなる！  
メダカ・プランクトン

1 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

水中に暮らす生物には、目に見えないような小さな生物がすんでいます。この生物は、動く力がそれほど大きくなく、浮遊して生活しているように見えます。このような生物を①( **プランクトン** )と言います。このような小さな生物は②( **顕微鏡** )を使って観察します。このような小さな生物の中には、たった一つの細胞から成り立っていて、③( **分裂** )で増える④( **単細胞生物** )生物や、1mm程度もあって、⑤( **卵** )で増えるミジンコなどまで、多くの生物をふくみます。

①

プランクトン

②

顕微鏡

③

分裂

④

単細胞生物

⑤

卵

2 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

プランクトンの中には、自分で①( **光合成** )という活動によって養分を生み出す②( **植物** )プランクトンと呼ばれるものがあります。また、自分で動き回り他から養分を得て生活する③( **動物** )プランクトンもいます。また、自分で養分を作るための④( **葉緑体** )を体の中に持ち、自ら動きまわるミドリムシのようなプランクトンもいます。このように、さまざまな水に浮遊して生活する生物をふくんでいます。

①

光合成

②

植物

③

動物

④

葉緑体

3 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



左の図はミジンコを示したものです。ミジンコは肉眼で見ることが①( **できる** )大きく、その大きさは、およそ②( **1** )mm程度の大きさです。ミジンコは、その生活から、③( **動物** )プランクトンとされ、自分より小さなプランクトンをえさとして生活しています。ミジンコは④( **卵** )で増えます。ミジンコは、エビやカニに近い仲間で、⑤( **エラ** )で呼吸します。

①

できる

②

1

③

動物

④

卵

⑤

エラ

4 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



A



B

左の図のAはミカヅキモ、Bはハネケイソウを示したものです。どちらも、日光を利用して①( **光合成** )と呼ばれる活動によって、生活に必要な養分を作っている②( **植物** )プランクトンです。AのミカヅキモもBのハネケイソウもどちらも1つの細胞からできている③( **単細胞** )生物です。Aのミカヅキモは体の内部中央にくびれがあって、この部分に細胞の中心となる核があります。また、Bのケイソウの仲間は、2つのからが合わさるような形をしています。どちらも、色素を持った養分をつくる④( **葉緑体** )を体内に数個持っています。

①

**光合成**

②

**植物**

③

**単細胞**

④

**葉緑体**

5 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

A



B



左の図のAは①( **ゾウリムシ** )、Bは②( **ミドリムシ** )という生物です。Aの生物は、他から養分を得て生活する③( **動物** )プランクトンです。Bの生物は、養分を作る④( **葉緑体** )を体内に持ち、動きまわる動物と植物の両方の性質をもつプランクトンです。えさを求めて移動することができます。Aのプランクトンは⑤( **せん毛** )と呼ばれる、体の周りの細かな毛を動かして移動します。また、Bのプランクトンは⑥( **べん毛** )と呼ばれる毛をふって移動します。

①

**ゾウリムシ**

②

**ミドリムシ**

③

**動物**

④

**葉緑体**

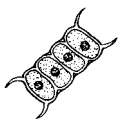
⑤

**せん毛**

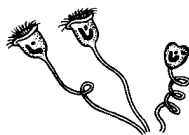
⑥

**べん毛**

6 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



A



B

左の図のAは①( **イカダモ** )、Bは②( **ツリガネムシ** )という生物です。Aの生物は体内に③( **葉緑体** )を持ち、④( **光合成** )という活動によって養分を自分で作り出す⑤( **植物** )プランクトンです。Bの生物は他から養分を得て生活する⑥( **動物** )プランクトンですが、長い柄(え)で、他のものについて生活しています。

①

**イカダモ**

②

**ツリガネムシ**

③

**葉緑体**

④

**光合成**

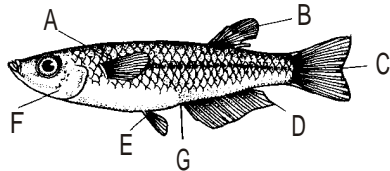
⑤

**植物**

⑥

**動物**

7 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



左の図はメダカの①( オス )のからだを示したものです。メダカには②( 5 )種類③( 7 )枚のひれがあります。Aのひれを④( むなびれ )、Bのひれを⑤( せびれ )、Cのひれを⑥( おびれ )、Dのひれを⑦( しりびれ )、Eのひれを⑧( はらびれ )と言ひ、この5種類のひれのうち、頭に近い所にある⑨( むなびれ )、それより下についている⑩( はらびれ )は2枚ずつあるので、ひれの枚数は全部で⑪( 7 )枚になります。この図では、Bのひれの⑫( 切れ込み )とDのひれが⑬( 平行四辺形 )のような形になっていることから、⑭( オス )であることがわかります。メスではGの⑮( こう門 )から卵を体外へ出します。

- |   |       |   |      |   |      |
|---|-------|---|------|---|------|
| ① | オス    | ② | 5    | ③ | 7    |
| ④ | むなびれ  | ⑤ | せびれ  | ⑥ | おびれ  |
| ⑦ | しりびれ  | ⑧ | はらびれ | ⑨ | むなびれ |
| ⑩ | はらびれ  | ⑪ | 7    | ⑫ | 切れ込み |
| ⑬ | 平行四辺形 | ⑭ | オス   | ⑮ | こう門  |

8 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



左の図のA・Bは産卵の時期になったメダカのオス・メスを表したものです。メダカは体温がまわりの温度につれて変化する①( 変温 )動物であるため、水温が適温になる春から夏にかけて盛んに活動します。卵もこの時期の②( 早朝 )に③( 水草 )へ産み付けられます。図のAは④( 腹 )の部分が大きいのと、⑤( せびれ )に切れ込みがなく、⑥( しりびれ )が⑦( 三角形 )のような形をしているので、⑧( メス )です。

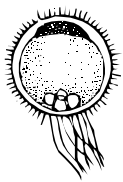
- |   |     |   |     |   |      |
|---|-----|---|-----|---|------|
| ① | 変温  | ② | 早朝  | ③ | 水草   |
| ④ | 腹   | ⑤ | せびれ | ⑥ | しりびれ |
| ⑦ | 三角形 | ⑧ | メス  |   |      |

9 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

メダカは①( 卵 )で仲間を増やします。卵は、水温が高くなり、昼間の時間が13時間を超えるようになる②( 5 )月から③( 8 )月にかけて④( 早朝 )に盛んに産み付けられます。メスが産卵を始めると、オスが寄り添うように泳ぎ、やがて、メスは1度に十数個の卵を産み、それを⑤( 水草 )にからみつかせ産卵は終わります。卵がそのようにからみつくのは、卵の表面に⑥( 付着毛 )と呼ばれる毛がついているためです。

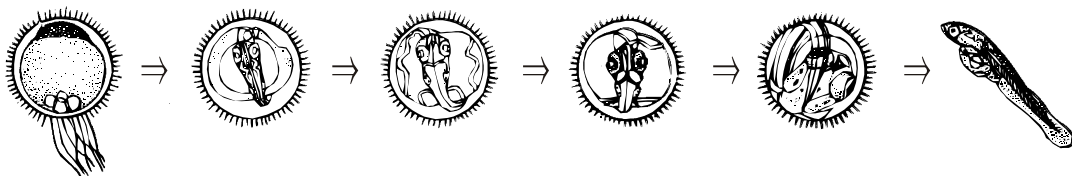
- ①       ②       ③
- ④       ⑤       ⑥

10 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



左の図は産卵からおよそ数時間経ったメダカの卵を示したものです。図の下の方についている毛のようなものが①( 付着毛 )で、これで水草にからみついています。卵には養分がたくさんふくまれているので、水槽で飼っている場合には親メダカが食べてしまう場合があるので、親メダカとは分けて飼育します。この図の卵の上の方にある黒っぽく見える部分を②( はいばん )と言

い、この部分がメダカの体を作っていきます。その他の部分は、③( 卵黄 )や油の粒などがあり、これらがメダカの体を作り出す養分になります。この卵も、2・3日すると目や心臓ができ、水温が25度ぐらいいでは、産卵からおよそ11日ほどで④( ふ化 )しますが、この直後から2・3日間は、⑤( 動 )きません。この間は、腹につけた袋の中の⑥( 卵黄 )を使って生活するので、⑦( えさ )を取りません。そして、およそ⑧( 2 )か月で十分に成長し、⑨( 卵 )を産むようになります。次に成長の様子を示します。



- ①       ②       ③
- ④       ⑤       ⑥
- ⑦       ⑧       ⑨